

2025年10月海洋観測結果について

10月1日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」で海洋観測を以下の表1と図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ
(<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) に掲載し、沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	16m	133.41	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

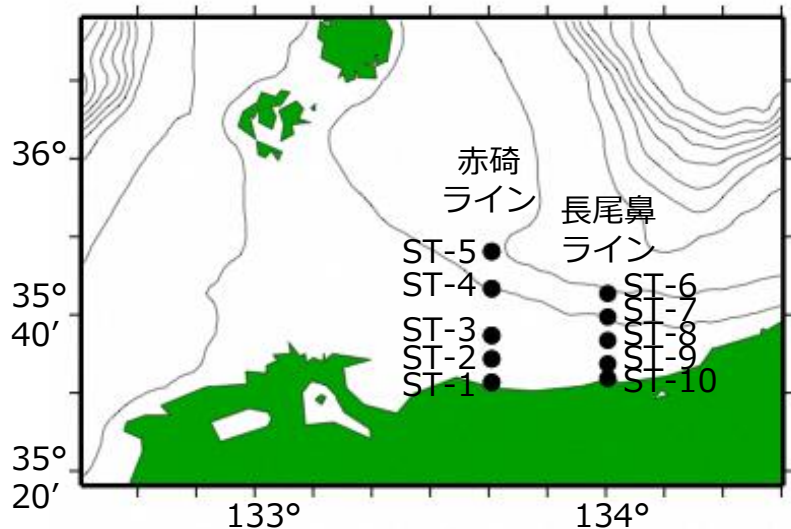


図1 観測定点

【鉛直分布図】

表面水温は、赤碕ラインは25～26℃台、長尾鼻ラインは26～27℃台で、前月より4℃ほど降温していました。

表面から水深30m付近までは26℃の暖水が覆っており、30m以深は深くなるにつれて徐々に水温が低くなっています。

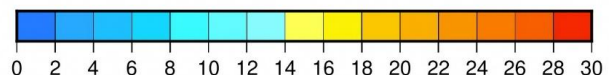
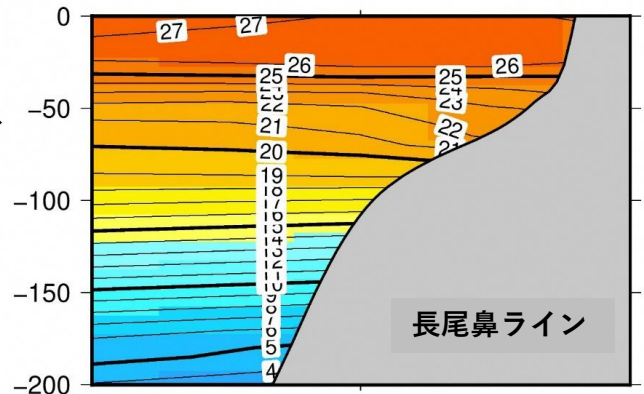
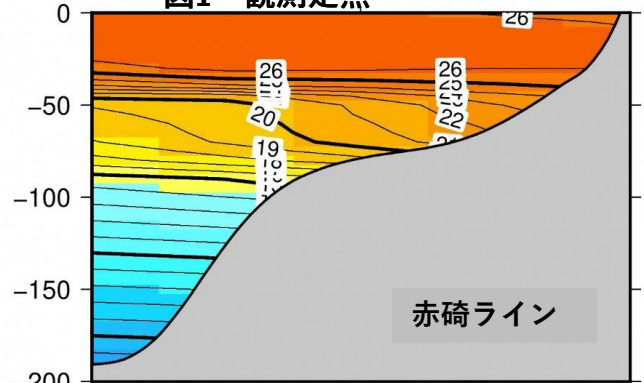


図2 鉛直分布図（海水温の単位：℃）

【水深帯別の比較】

水深0mでは、赤碕、長尾鼻ともに平年より0.5～0.7℃高くなっていました。水深30mでは、赤碕、長尾鼻ともに平年より2.0～2.2℃高くなっており、水深90mでは、赤碕は平年より1.1℃低く、長尾鼻は平年より0.7℃高くなっていました(表2)。

気温の低下や秋雨前線の影響により、表面水温は平年並みに落ち着いてきました。しかし、大型台風の通過が無いため表層水温がかき混ぜられることがないので水深30mは高温状態が継続しています。

表2 各ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m	90m
2025年	26.0	26.0	20.4	15.1	26.2	25.8	22.4	18.4
前年	26.8	23.0	20.8	17.8	26.9	23.0	21.2	17.3
2011-24年平均	25.6	23.9	21.4	18.1	25.5	23.8	21.7	18.2
平年差	0.5	2.2	-1.1	-3.0	0.7	2.0	0.7	0.1